

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和4年10月号

思い出いっぱいの修学旅行 6年生

新型コロナの第7波の中、実施も心配された修学旅行ですが、9月27・28日に、予定通り山梨方面のコースで行ってこれることができました。

学年全員で行けたこと、天候にも恵まれ、予定していた見学や体験を全て行うことができたことが何よりでした。

初日はまず、リニア実験センターの見学からスタート。リニア新幹線の実験車両が通過するのを間近で見ました。車両がセンターに近づくとつれてゴーッという音が聞こえ始め、時速500^{km}で

走る車両は、目の前を一瞬で通り過ぎていきました。どんな仕組みで走行するのか、実験装置を使いながら分かりやすい説明で納得することができました。続いて向かったのは、富士山五合目。ふもとでは、くっきり見えていた富士山も、五合目まで登ると残念ながら霧の中でしたが、おいしい昼食をいただいたり、家族のことを考えながらおみやげの買い物をしたりしながら、標高の高さを味わいました。その後に向かった河口湖クラフトパークでは、サンドブラストのコップ作りと、スタンドガラスの写真立てづくりに分かれて、製作に取り組みました。一人一人自分の気に入った作品に仕上げるために、集中して作品作りに向かい、時間が足りなくほどでしたが、それぞれ満足がいくものになったようです。最後に、初日の締めくくりとして、河口湖の遊覧船に乗りました。穏やかな夕方の日差しの中で、風林火山の幟が立てられた船に揺られながら、子どもたちは、富士山のふもとの山梨ならではの風情を味わいました。ホテルの部屋では、一緒に部屋のメンバーとたくさん話したり、カードゲームをしたりして楽しく過ごしていました。貸し切りにしていただいたおかげもあって、ぐっすりと休めたようでした。

2日目は、富岳風穴を見学して、自然が生んだ天然の冷蔵庫を体感したあと、青木ヶ原樹海の遊歩道を1時間ほど散策。その後、富士急ハイランドで、グループごとにアトラクションを楽しみました。2日目も、くっきりとした富士山を背景にした写真は撮れませんでした。とても充実した2日間でした。

この旅行中、子どもたちは、自分の係の仕事に積極的に取り組んだり、見学地では、たくさんメモを取って真剣に話を聞いたりして、日頃の学校生活や事前の学習を生かした姿を見せてくれました。たくさんの方々を支えられ実施できた修学旅行。感謝の気持ちとともに大切な思い出として、心の中にしっかりと持ち続け、更に今後の学校生活へとつなげていってほしいと思います。



失敗を恐れず、挑戦し続けた成果～管楽器部「アフリカンシンフォニー」～



早川先生のアドバイスを聞く管楽器部の皆さん

見られました。短い時間でしたが、部員はもちろん、その様子を見学した部員以外の5・6年生も「音楽会に向けて頑張ろう！」と心の炎が燃え上がったようでした。

13日は2・3・4年生、14日には1・5・6年生の「管楽器部壮行会」の意味を込めた「音楽集会」を行いました。早川先生の指導後、より目標や課題を明確にして、朝早くから毎日熱心に練習に取り組み、磨き上げてきた「アフリカンシンフォニー」は、10日前の演奏とは比べものにならないほどダイナミックでスケールの大きなものになっていました。目の前に広がる広大なサバンナやそこで生活する様々な動物たちの姿が目に浮かんできました。思わずリズムに合わせて体を動かしてしまうような演奏でした。激励の言葉を贈る校長先生に視線を向け、集中して聞く部員さんたちの凜とした姿は「やれる努力は全てやってきた！」と言わんばかりの自信に溢れたものでした。

15日にサントミュージーズで行われた交歓演奏会、後半に行けば行くほどまとまりと迫力が増し、これまでの練習の成果を十二分に発揮した素晴らしい演奏ができました。大舞台で力を出し切った部員の皆さん本当にお疲れ様でした。お子さんたちの健康管理や当日の送迎、楽器運搬など様々な面で協力し、支えてくださった保護者の皆様ありがとうございました。以下に講師の先生お二人の講評を紹介します。

15日にサントミュージーズで行われた交歓演奏会、後半に行けば行くほどまとまりと迫力が増し、これまでの練習の成果を十二分に発揮した素晴らしい演奏ができました。大舞台で力を出し切った部員の皆さん本当にお疲れ様でした。お子さんたちの健康管理や当日の送迎、楽器運搬など様々な面で協力し、支えてくださった保護者の皆様ありがとうございました。以下に講師の先生お二人の講評を紹介します。

☆一つ一つのパートがそれぞれにまかされた役割をしっかりと果たしていて音楽にとっても厚みを感じることのできる演奏でした。音楽がどんどん熱をおび、高まっていく感じがあり、アフリカのもっているエネルギーのようなものがよく表現できていて素晴らしかったです。(元:上田西小学校長 柴田 隆一 先生)

☆パーカッションの pp(ピアニッシモ)からの始まりがすごくいいですね。先生から目を離さず、体全体で拍を合わせ、金管の部分につなげていくのは、バンドの一体感を感じました。全音符のつなぎ方にも工夫が見えました。カンニングプレスも工夫していましたね。音を一つ一つ最後まで大切にしよう、ということをしちゃんと分かって演奏できていることだと思います。動きも入れながら、それが音のティナーミク(強弱表現)にもつながり、視覚的にも楽しめる好演です。最後の細かい音までよく練習してありました。練習時間の短い中、みんなで力を合わせ心を合わせ、よい時間が作れているなと思います！

(前:田中小学校長 荻原 敏行 先生)



1・5・6年生の前で演奏～管楽器部壮行会～

地域や故郷の素晴らしさを感じた10月～3年生社会見学～



10月6日、3年生が和小学校の正門前にある集荷場の見学に行きました。毎日のように見ている建物でしたがその正体を知っていた子はいません。もちろん中に入ったことありません。東部営農センターの西澤さんの案内で場内に入り、たくさんのぶどうを目にすると「わーっ！すごーい！」と子どもたちの瞳はまるでシャインマスカット。しかし、真剣な表情で「選果」の作業をする皆さんの様子を見てみると、自然に自分たちも選果をしているかのように鋭い眼差しになっていきました。そんな時「こんなところにぼくの知り合いの人がいる。すごーい！」とぶどうを詰める箱に書かれた名前見つけた子が感動の声を上げました。見学後には子どもたちの質問に丁寧に答えていただきました。「一番できのいいぶどうは大田区の市場に出荷され、そこで値段がつけられること」「東御市全体で100haほどのぶどう畑があること」「東御市は日照時間が長く、水はけのよい土壌でありぶどう栽培にとっても適していること」などたくさん教えてもらいました。自分たちにとっては辛かった「朝の寒さ」がぶどう栽培にとって重要な寒暖差につながっていること、歩くのが大変な上り坂がたくさんあることが、日当たりのよさにつながっていることも知りました。10月は東御消防署やツルヤ和店、永井農場の見学にも出かけ、自分たちの安全を守るため昼夜を問わず働いてくれている方々や自分たちの生活を支え、より豊かなものにするために努力してくれている方々、地域の環境保全に努めながら安全な食料栽培に取り組んでくれている方々の努力や思いを知るとともに、故郷についての学びを深めることができました。きっと3年生の子どもたちは、東御市や和地区をより好きになったことでしょう。今まで「大変だな…」と感じていた登下校の坂道も、少し楽に感じるようになったかもしれません。



やったー！「My TAKEUMA」ゲット！～和地域づくりの会のみなさんと～



2学期「総合的な学習の時間」で竹の学習に取り組んできた3年竹組の子どもたちの夢がついに叶う日が来ました。夢のお手伝いをしてくれたのは「和地域づくりの会」に皆さんです。子どもたち全員分の竹を用意し、竹馬づくり当日は7名の方が来校してくださり、一人一人の子どもたちの希望



に合った竹馬ができるように竹を切ったり、足を乗せる部分を取り付けたり、安全のためにテープを巻いたりしてくれました。「やりたい！」という子どもたちの思いを大切に、子どもたちが自分でつくった満足感を味わえるように気を配っていただきました。会長の田中さんは、子どもたちが自分の手でつくれるように考え、足場を固定するのに扱いづらい針金ではなく、ビニールハウスに張るビニールシー



トを固定する黒い紐を用意してくれました。自分に合った高さ、自分に合った長さの「My TAKEUMA」を完成させた子どもたちは、すぐに校庭で乗る練習を始めました。驚いたことに、以前に見本としていただいた竹馬には上手く乗ることができなかった子どもたちも、自分がつくった竹馬にはすぐに乗れるようになったのです。不思議でした。お手伝いする地域づくりの会の皆さんは、とても優しい表情で子どもたちを見つめ、1つの作業が終わるごとに「上手にできたね！」と褒めてくれました。楽しそうに竹馬乗りをする子どもたちを嬉しそうに見つめる地域づくりの会の皆さんの表情が印象的でした。地域の子どもたちを心から大切に思っ

てくれていることが伝わってきました。3竹の教室の前の廊下には毎日竹馬がきれいにならべてあります。自分と地域づくりの会の皆さんの愛情が詰まった手作りの竹馬は子どもたちの宝物になっています。

楽しさいっぱい！不思議いっぱい！満足感MAX！～5年生稲刈り～



1日延期となったことで子どもたちのテンションはどうか・・・と心配しましたが、子どもたちの気持ちは延びたことで楽しみ感倍増！でした。永井農場の方から「必ず稲を持つ手の親指を上に向けること」「落ちた穂はきちんと拾うこと」について話していただき、さあ稲刈り開始です。鎌で「ザクッ！」と刈った瞬間の何とも言えない心地よさに子どもたちは大興奮！「先生、めっちゃ楽しい！！」「稲刈りってこんなに楽しいんだ！！」と田んぼ中が刈られた稲と「楽しい！楽しい！」の声で溢れていました。毎日音楽発表会に向けて、心を

合わせて練習に取り組んでいるからでしょう。ペアの友だちと自然に協力して稲を上手に縛ったり、みんなで協力してリレー方式で縛った稲をはぜに掛けたりすることができ、そのチームワークのよさに永井農場の方々も感心していました。最後は、残る半分の稲をコンバインが刈り取る様子の見学です。予想通り、最初は自分たちが1時間かけて行った作業をとつてもない速さで終えていく機械の力に驚いた子どもたちでしたが、少し経つと「ねえ、とれたお米はどこに入っていくのかな？」「あの藁の部分はどこに行くんだろう？」と各々が感じた「不思議」を呟き始めました。子ども



らしい視点がとても微笑ましかったです。終わりの会では「友だちと協力して作業ができてよかったです！」と感想を述べてくれた子がいました。汗ばむ陽気でしたが、みんなで力を合わせて収穫作業を終えた5年生の子どもたちは、たく



さんの米が収穫できたことだけでなく、友だちの存在の素晴らしさと心強さを感じ、満足感いっぱいでした。今は音楽発表会に向けて全力投球の子どもたちですが「発表会後はお米に関する活動を頑張るぞ！」という思いをもった子がたくさんいたようです。

◇次は収穫祭です。とても楽しみにしています。収穫祭のだけでなくツルヤでの販売もします。まだまだ米づくりの学習は続きます。とても楽しみです。

◇これから先、販売があるし、それに向けた準備もあると思うので、その時は積極的に仲間と協力してやりたい。

◇初めてやった稲刈りだったから最初は何も分からなかったけど、3人グループで上手に鎌で稲の株を切れてよかったです。

◇初めてなのでこわいところもあったけれど、〇〇君や他の友だちとも協力してがんばりました。米を干すとき、みんなとリレーするのがとても楽しかったです。

元気に行ってきました！～1年生 秋の遠足～

「ねえ、どうしてバスじゃないの～。」「ねえ、先生、あれ、〇〇君の家だよ！知ってる？」「オレ帰ったらゲームするんだ！」
「まだつかないの～！もうお弁当食べたい！」「もう疲れた～。こんなに歩いたことないもん・・・。」



風にそよぐ葉の音も秋の虫たちの歌声も全く聞こえません。聞こえてくるのは、周りの子どもたちの元気で可愛いおしゃべりだけです。「これならきっとお家に帰るまで大丈夫だな。」と安心して見ていました。やったー！中央公園に到着！時間はまだ10時を少し回ったくらいで、遊ぶ時間たっぷりです。ジャンボ滑り台、アスレチック、沢ガニ探し、栗拾い、小さい子とのふれあい・・・と、みんな思い思いに楽しみました。しかし、11:00ぐらいになるとあら不思議。

遊具のあたりが閑散とし、先生が何も指示を出していないのに、子どもたちが続々と集合場所に集まり始め、シートを敷き、大きなレジャーシートの島が完成。中にはもうお弁当を出して正座している子も。



子ども数人:「ねえ、もうお弁当食べていいでしょ！」 教頭:「待って！まだ佐智子先生もひかり先生も何も言ってないよ。」
教頭:「まだ遊びの時間だよ。」 子ども数人:「えー、そうなの？まだ遊んでいいんだ！」



みんなお弁当が楽しみで楽しみで仕方がなかったんですね。それにしても、1年生が笛の合図なしにどんどん戻ってくるなんて初めて見ました。



おいしいお弁当のおかげでエネルギー満タン！午後はニッコニコの子どもたちの表情を映し出したかのように、お日様が出て来てほかほか陽気に。たくさん子どもたちが芝生をゴロゴロ。まるで「〇〇〇〇クリニック」CMオーディション。秋の気候や自然を満喫し、帰りにはおいしいソフトクリームも満喫し、みんな元気に戻ってきました。

小学校生活の登竜門！～2年生、目指せ九九マスター！～



九九カードに繰り返し挑戦中

えると

自然にメロディに乗ってしまいます。

反対から唱えるときは、歌のメロディも反対になります。とっても器用です。難関は「6・7・8の段」です。特に「7の段」の「しちし」といった発音は「4の段」と混ざりやすく難しいのです。「3の段」の「さんしちにじゅういち・さんぱにじゅうし・さんくにじゅうしち」の3連続も、音が似ていて苦労しています。一生懸命練習していると、時々、「先生！先生！」と瞳をキラキラさせて駆け寄ってきて『4×6(しろく)』と『6×4(ろくし)』は答えがおんなじ！』とか「9の段でね、十の位の数字と一の位の数字をたすと全部9になる！」と自分の大発見を得意げに語ってくれる子がいます。大人にとって当たり前のことも、子どもたちにはとても新鮮なことなのですね。挫けずにチャレンジし続け、着実に上達していく子どもたちの姿はとても眩しいです！



タブレットでランダム九九に挑戦中

和んぼく見守り隊連絡会 ～和地域みなさんの温かさに感動～



3日に「見守り隊連絡会」を行いました。10名の隊員の方々に参加していただき、登下校時の様子を教えてもらいました。「学校が楽しい!」「先生がとってもいい!」と話す子が多いそうで嬉しく思いました。以下の点について、子どもたちの命を守るため、学校やお家でも話してほしいということでした。

- 縁石の上を歩きたい歩道で鬼ごっこをしないように。
- 狭い道路では横に広がらないで歩こう。
- 高学年みなさんも油断せずにきちんと横断時の安全確認をしよう。
- 柵津線はスピードを出す車が多い。特に気をつけよう。

ある隊員さんから「突然の雨の際、通り過ぎた保護者の方が車を止め、歩いて戻ってきて傘を貸してくれた。とても感動した!」という話をお聞きました。子どもたちのためにご苦労いただいている隊員さんに感謝の気持ちを行動で表してくださった素敵な保護者の方、本当にありがとうございました。お互いを大切にし合う「和」の温かさを感じました。

人権教育参観日についてのお願い

11月18日(金)は人権教育参観日です。全校一斉開催ということで、100軒以上のご家庭から自家用車での来校希望がありましたが、地域の皆様のご厚意で何とか駐車スペースを確保することができました。当日の駐車券がないご家庭については、徒歩か自転車での来校をお願いします。(※無断駐車はご遠慮ください。)後日、駐車券を配布しますが、当日は係職員が入り口で券を確認しますので、ダッシュボードの前に置いてご入場ください。

11月の予定

- 1日(火) 安全点検日 3年図工APA授業
- 2日(水) 5年収穫祭 PTA代議員会
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) 4竹対話型鑑賞授業 GSST⑥
1・2年歯科検診
- 7日(月) 4年長野市見学 学校評議員会②
2年豆たたき 学校集金口座振替日
- 8日(火) 2年生活科遠足
- 9日(水) 4年森林学習
- 10日(木) 5年リモート社会見学
3・4年歯科検診 児童会⑨
- 11日(金) 来入児検査・保護者会
- 14日(月) なかよし旬間(～18日)
東中区授業参観(東部中)
- 15日(火) 5年記念館清掃 SC来校日
- 16日(水) 放課後元気塾
- 17日(木) 校長講話 5・6年歯科検診
- 18日(金) 人権同和教育参観日 PTA講演会
学級懇談会 リサイクルデー 学校運営委員会
- 21日(月) 特別支援学級交流遠足
- 22日(火) なかよしペア顔合わせ 卒業記念写真撮影
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 4年人権センター見学 児童会⑩
ニコニコデー(学校生活アンケート実施日)
- 25日(金) なかよし祭
- 28日(月) 秋の読書旬間(～12/9)



詳細は次号でお伝えしますが、26日(水)に、3年ぶりの音楽発表会を、サンテラスホールで実施することができました。様々なハプニングもありましたが、子どもたち一人一人の音が重なり合い、保護者や来賓の方々との温かな拍手に包まれながら、ステキな音楽会となりました。次号をお楽しみに。 文責・作成:校長 教頭